



2020年度 決算説明会 イビデン株式会社 (4062)

2021年4月28日

このプレゼンテーション資料には、2021年4月27日現在の将来に

関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因

により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

2020年度 実績

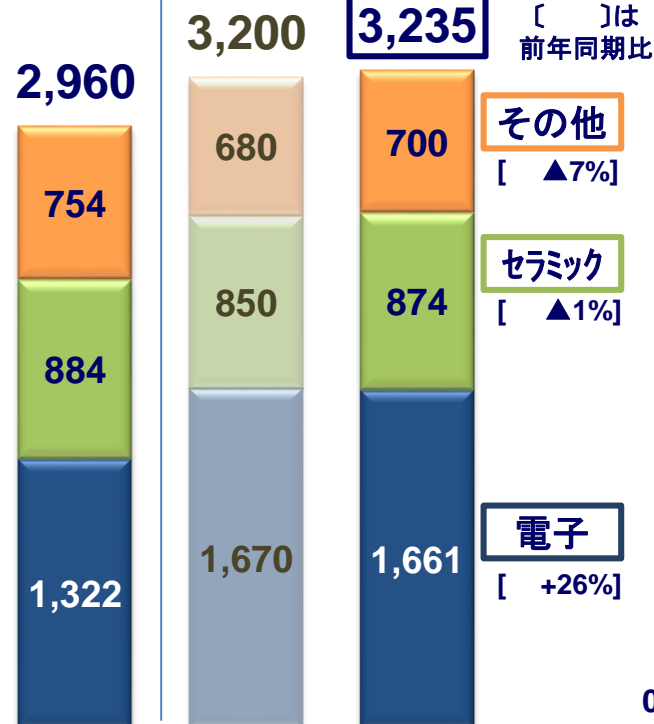
2020年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 実績



売上高

(億円)

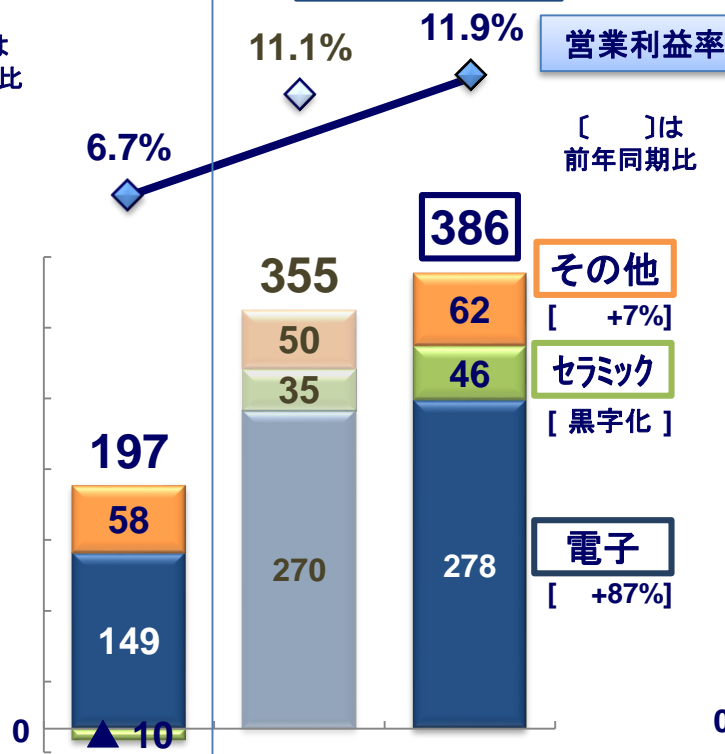
前年同期比
+9.3%



営業利益

(億円)

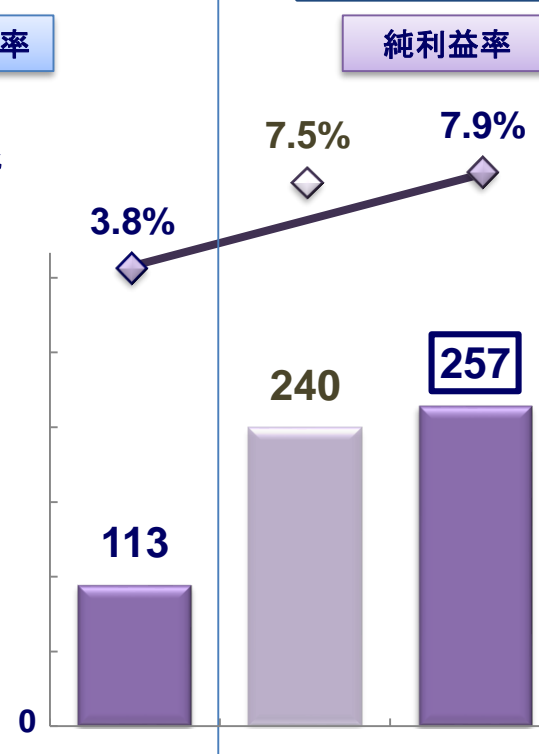
前年同期比
+96.3%



純利益

(億円)

前年同期比
+127.0%



実績 19年度 2/4 開示 20年度 実績

実績 19年度 2/4 開示 20年度 実績

実績 19年度 2/4 開示 20年度 実績

108	105	105	為替(ドル)
120	120	121	為替(ユーロ)

市場見通しと 当社事業展望

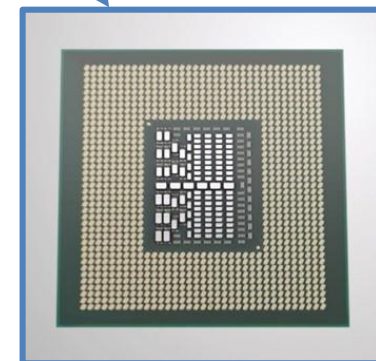
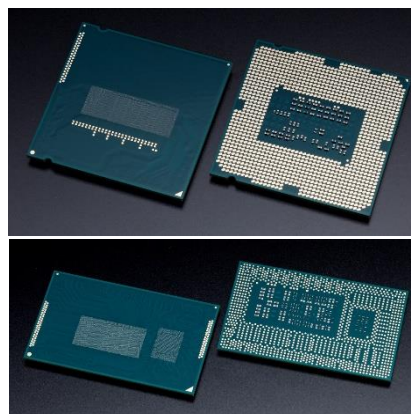
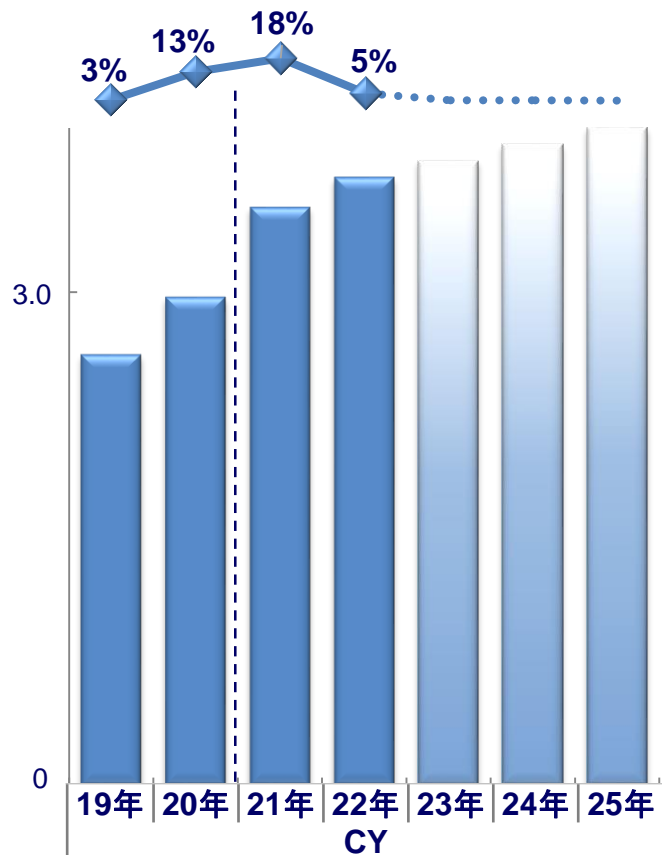
[電子] パソコン市場の動向

□ テレワークや遠隔教育の世界的な普及拡大に伴い、パソコン市場は成長の見通し

(単位:億台)

(外部調査会社の
情報を基に推定)

■ パソコン成長率



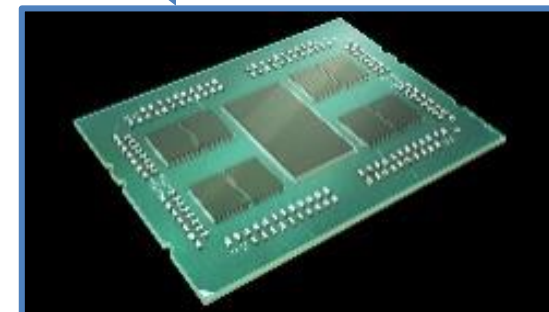
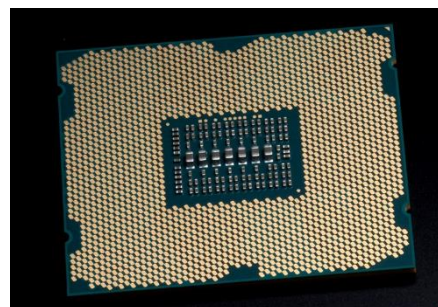
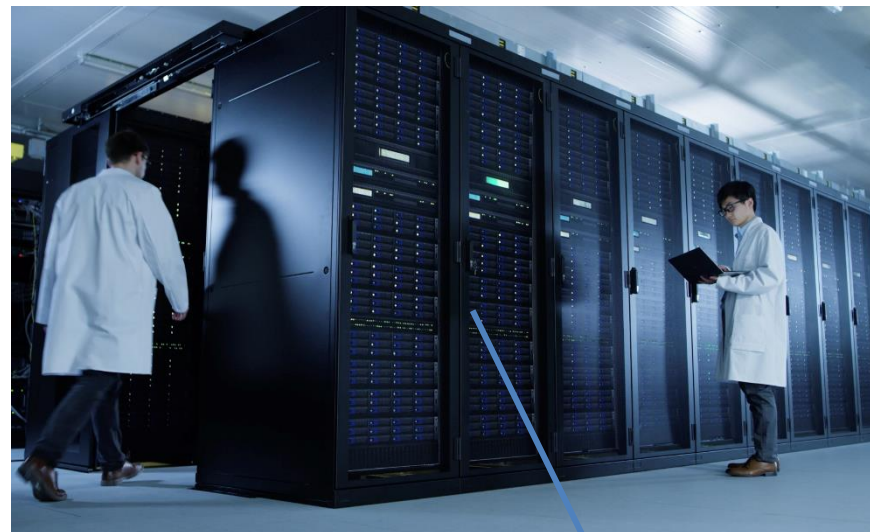
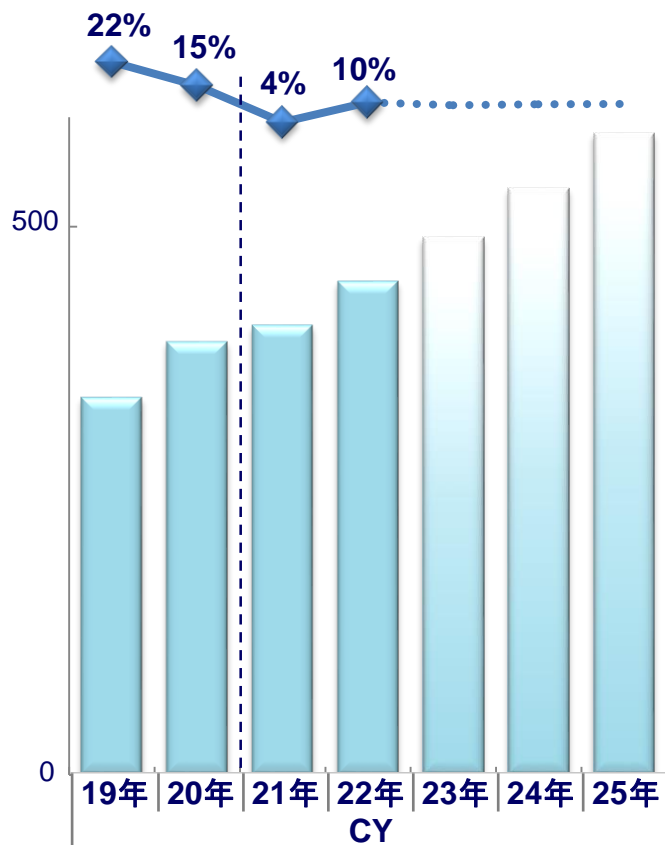
[電子] データセンター市場の動向

□ 企業活動を中心にデジタル化・クラウド化が継続、高水準の成長を堅持

(単位:億ドル)

(外部調査会社の
情報を基に推定)

■ データセンター成長率



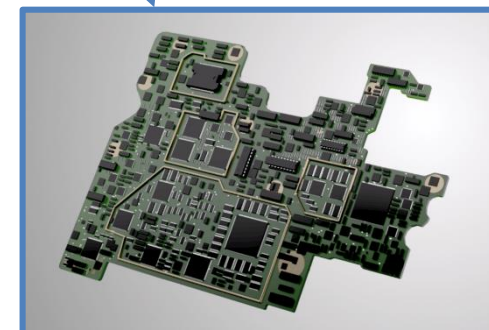
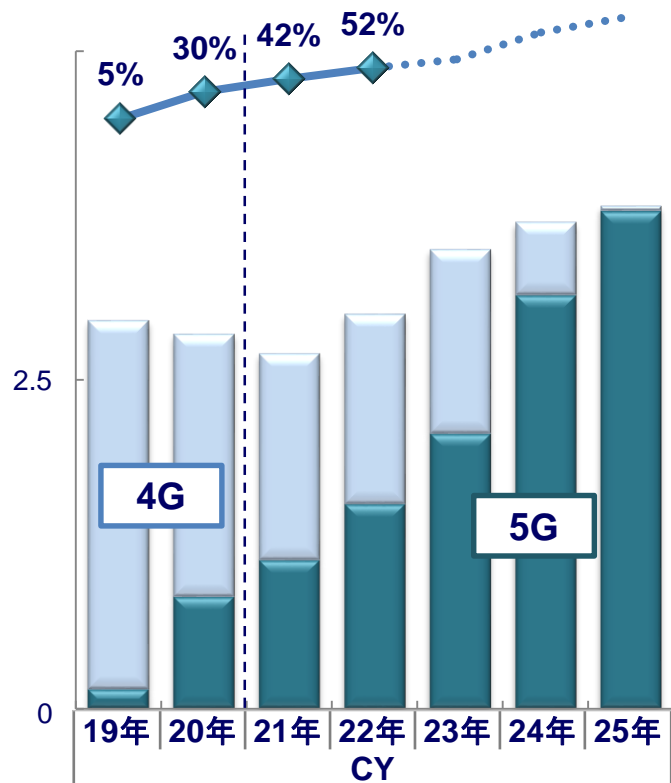
[電子] ハイエンドスマホ市場の動向

□ 足元はマイナス基調 5Gサービス開始により、中長期では成長の見通し

(単位:億台)

(外部調査会社の
情報を基に推定)

■ 5G比率



[セラミック] 自動車生産台数の見通し

- 乗用車市場 : 内燃機関を搭載した乗用車は、一定の水準を維持する見通し
- 中・大型車市場 : 中国・新興国を中心とした排ガス規制の強化を背景に拡大

乗用車

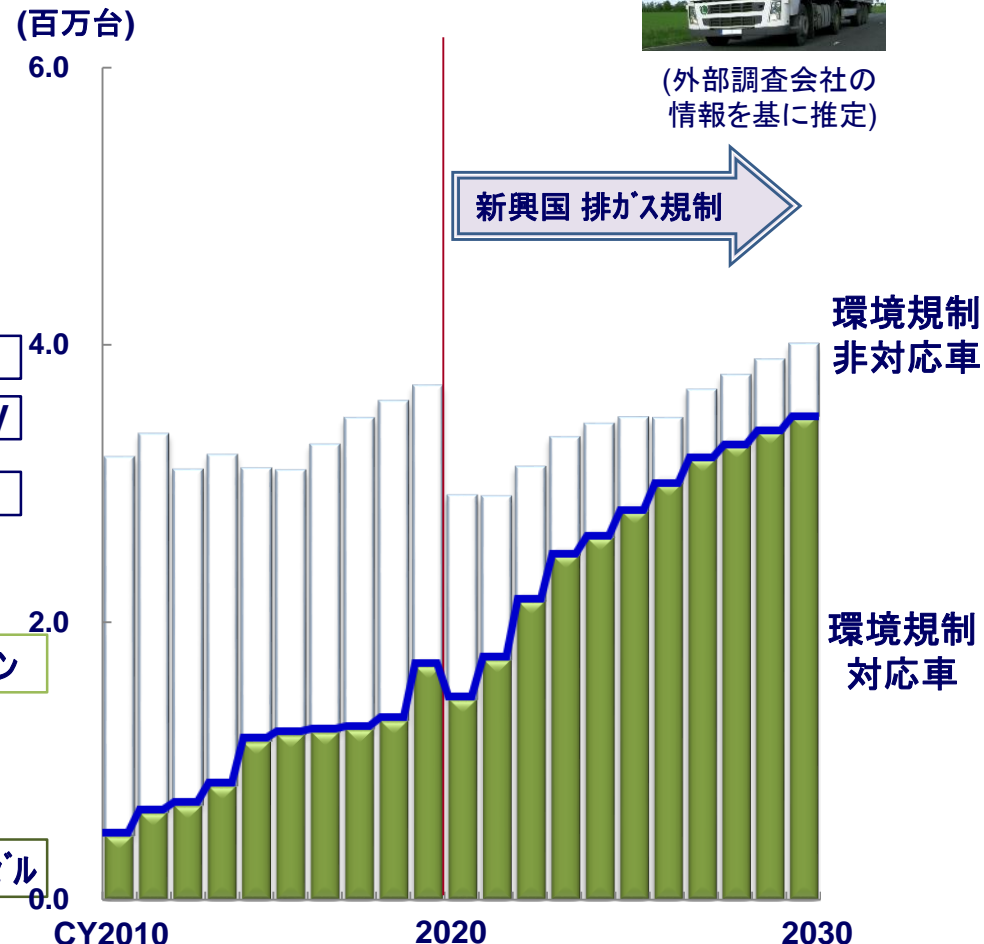
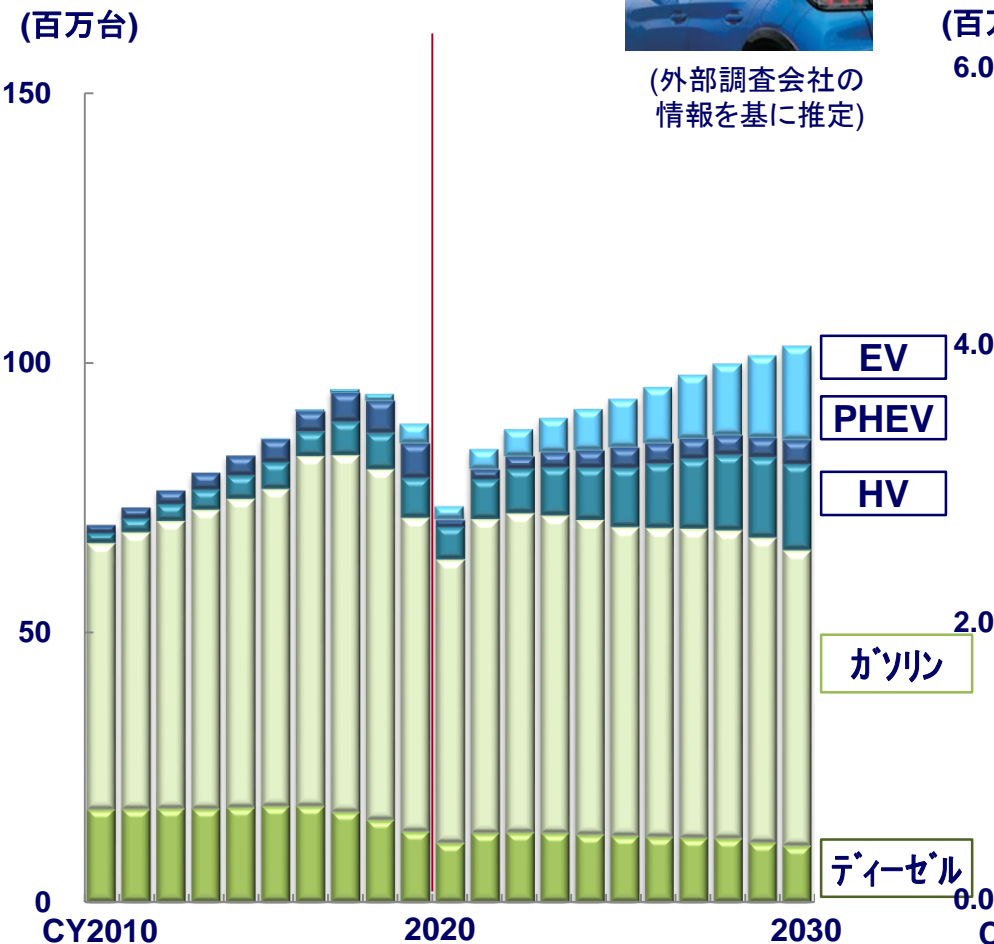


(外部調査会社の情報を基に推定)

中・大型商用車



(外部調査会社の情報を基に推定)



[セラミック] 排気系事業

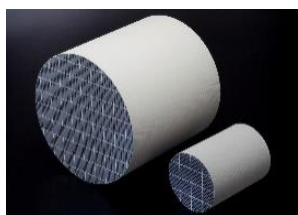
*PC : Passenger Car (乗用車)
 *LCV : Light Commercial Vehicle (小型商用車)
 *HD : Heavy Duty Car (大型車)



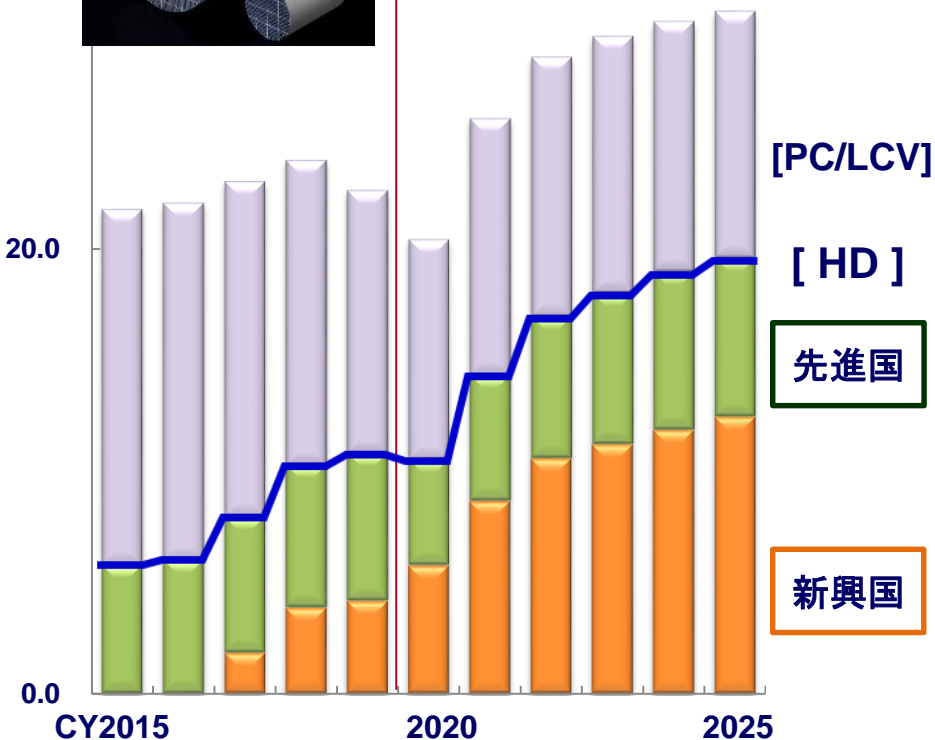
- 市場変化に対応し、ハンガリー・メキシコ・日本の3極で最適かつ効率的な生産体制を継続する
- イビデンファインセラミック蘇州を計画通り立上げ、触媒担体保持・シール材の需要拡大を取り込む

DPF市場

(百万台) ※HD : 乗用車の約3倍換算 (顧客情報等を基に推定)



中国 排ガス規制

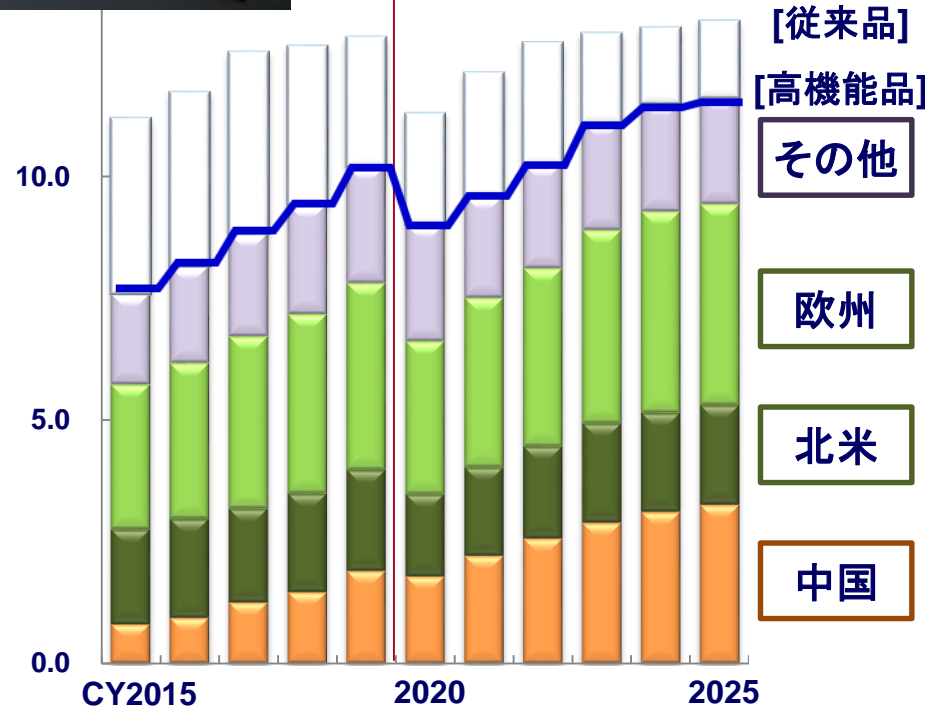


自動車用触媒担体・保持シール材

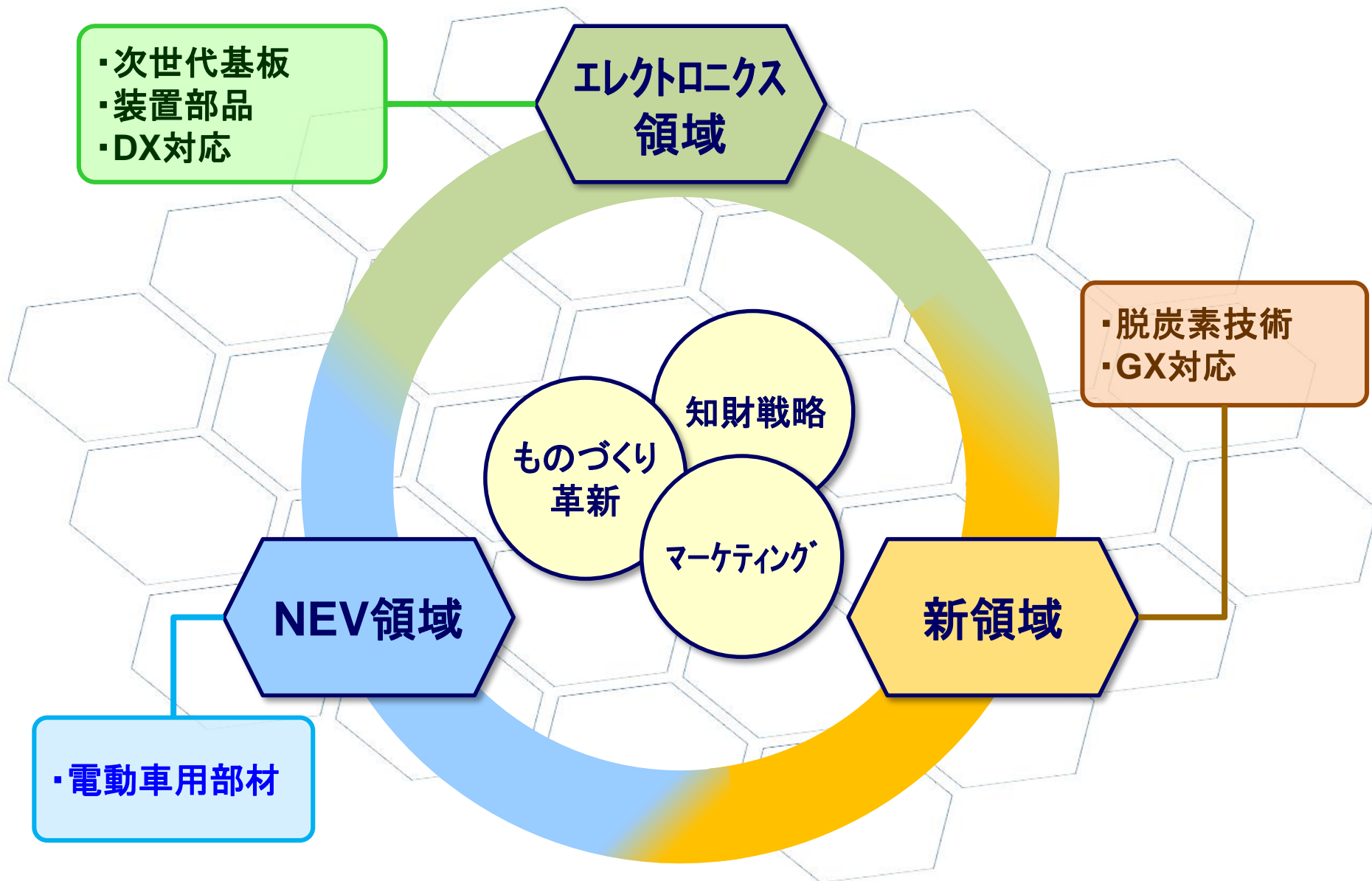
(千ton) (顧客情報等を基に推定)



中国 排ガス規制



[技術開発] 狙う領域と開発コンセプト



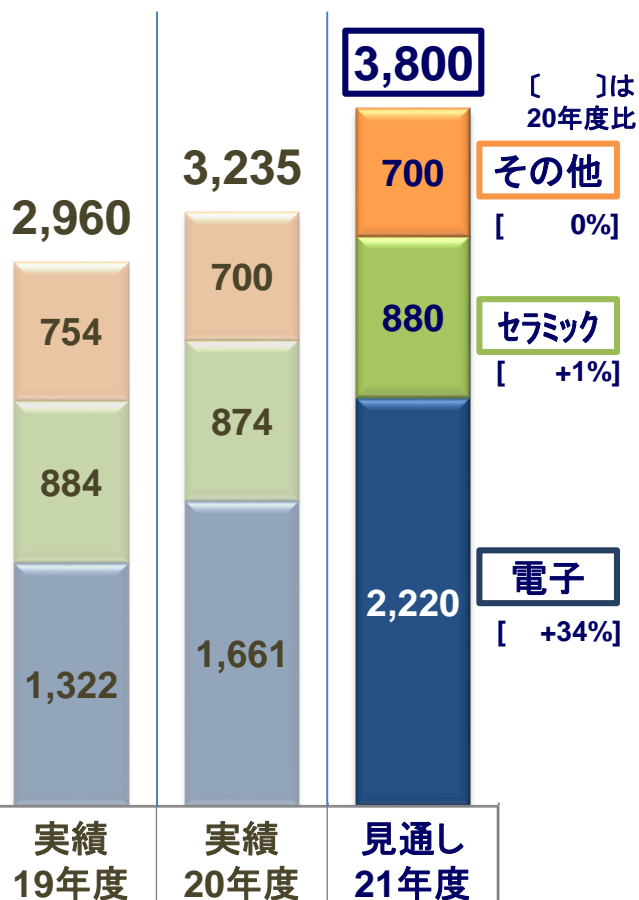
2021年度 見通し

2021年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 見通し **IBIDEN**

売上高

(億円)

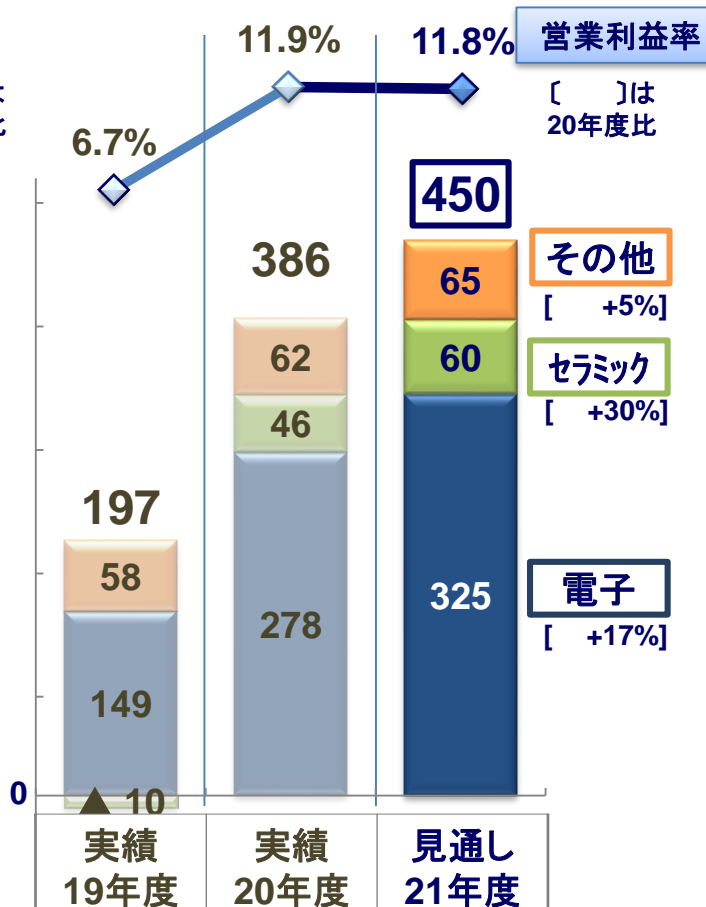
20年度比
+17.5%



営業利益

(億円)

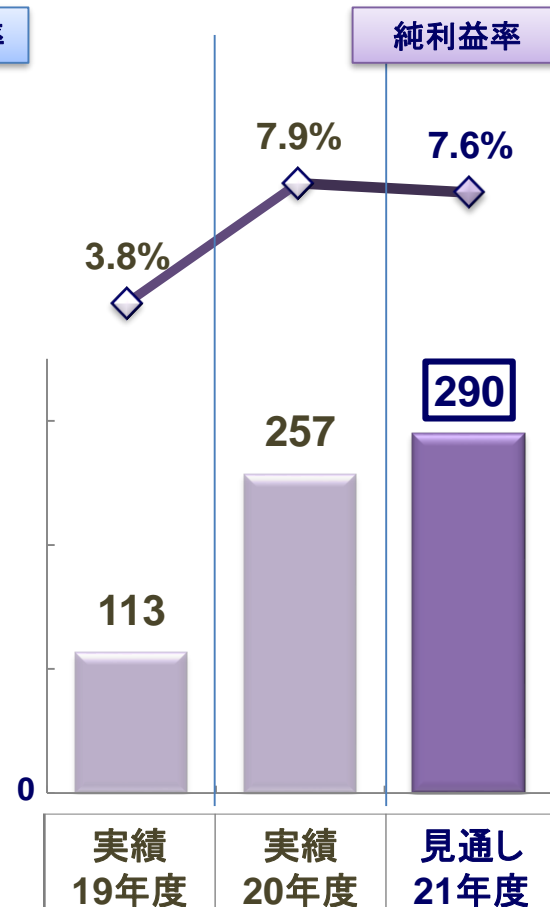
20年度比
+16.5%



純利益

(億円)

20年度比
+12.8%



為替(ドル)
為替(ユーロ)

中期業績 見通し

世界的な半導体需要の拡大に対応するため、ICパッケージ基板の生産能力増強を図る目的で、以下内容の設備投資計画を策定



河間事業場 新棟竣工イメージ

【設備投資計画の概要】

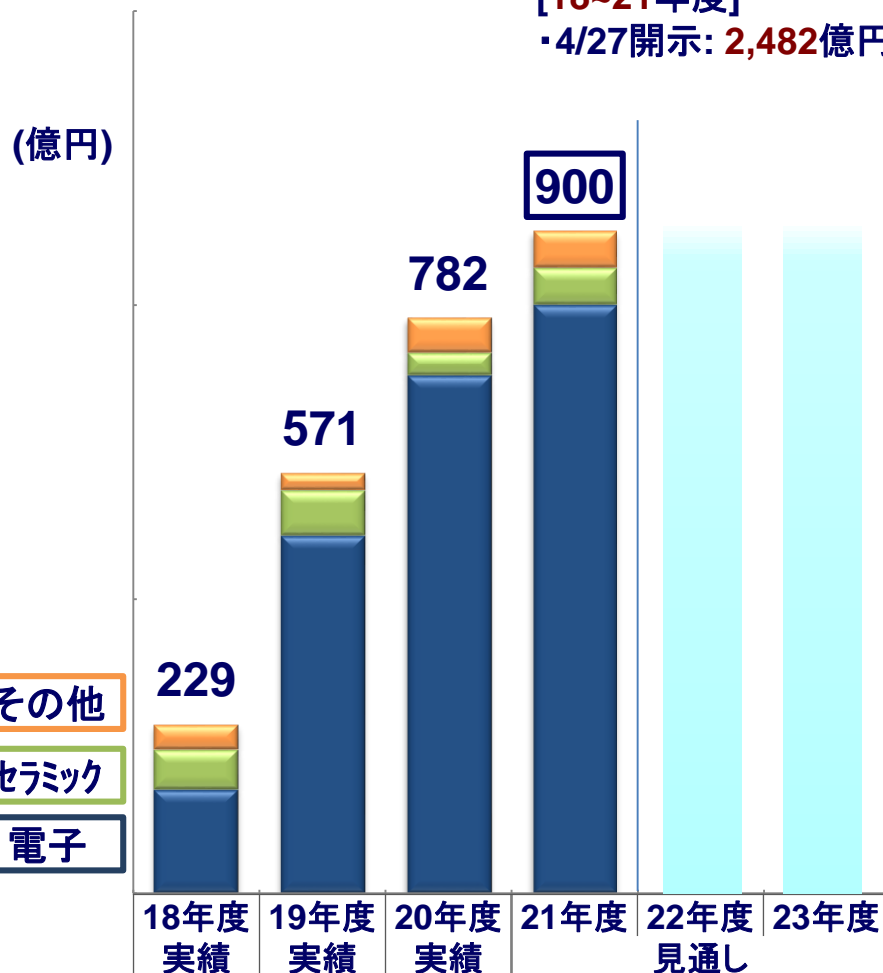
1. 目的 : 高機能ICパッケージ基板の生産能力増強
2. 総投資額 : 1,800億円(予定)
3. 場所 : 河間事業場 (岐阜県大垣市河間町3-200)
4. 稼働時期 : 2023年度より順次稼働し、量産開始の計画
5. 生産能力 : 2023年度以降のICパッケージ基板需要に対応可能な国内生産能力の増強を実施
6. スケジュール : 2021年度上期 既存建物・設備等の解体撤去開始
2021年度下期 新棟建設工事の開始
2023年度 新棟竣工及び量産稼働開始

設備投資(検収)額・減価償却費の計画

□ 伸びる市場に積極的に先行投資を行い、次期中計の成長の足掛かりを築く

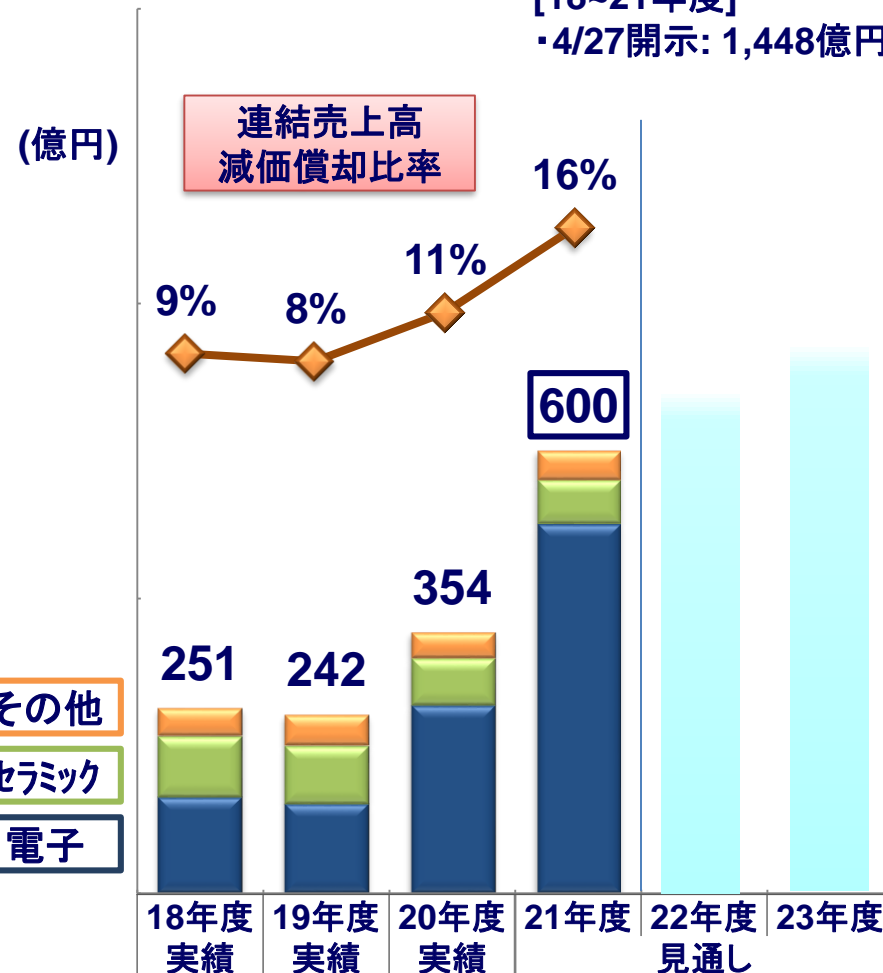
設備投資額

[18~22年度]
・10/28開示: 2,500億円
[18~21年度]
・4/27開示: 2,482億円



減価償却費

[18~22年度]
・10/28開示: 2,200億円
[18~21年度]
・4/27開示: 1,448億円

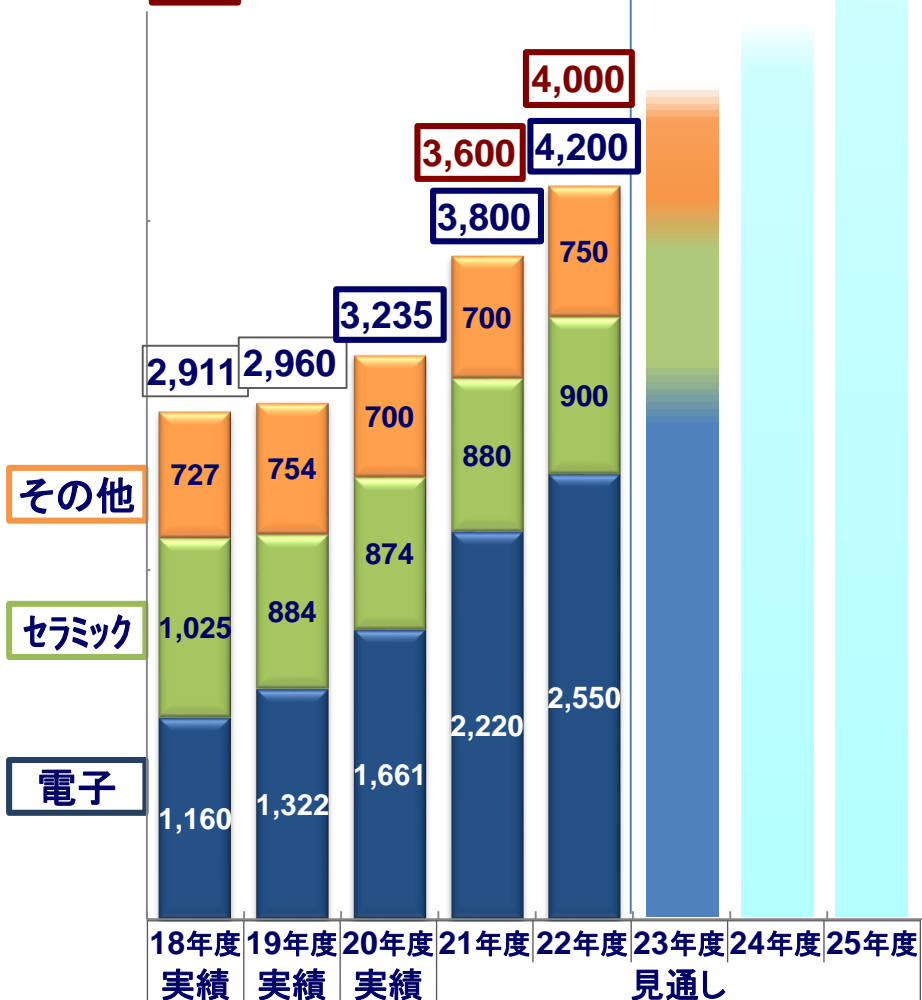


中期 業績見通し



売上高

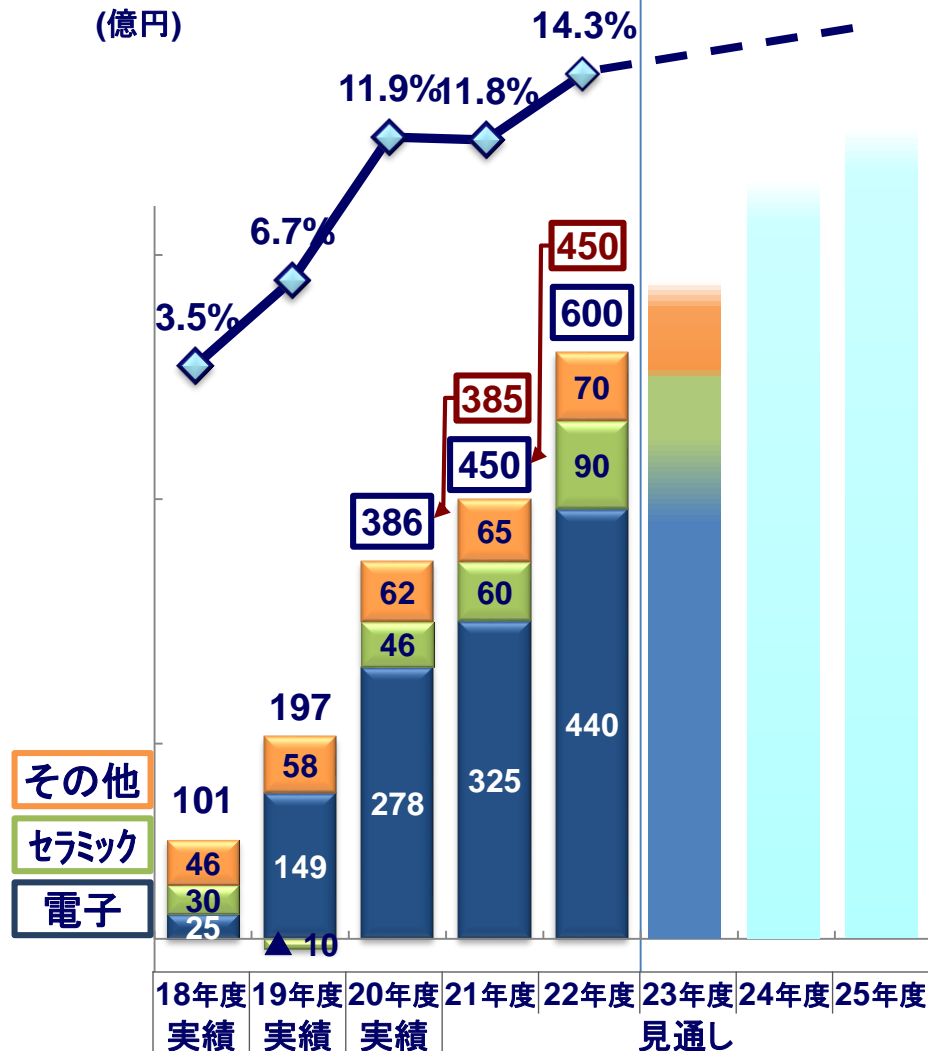
(億円) : 10/28開示 業績見通し



営業利益

(億円)

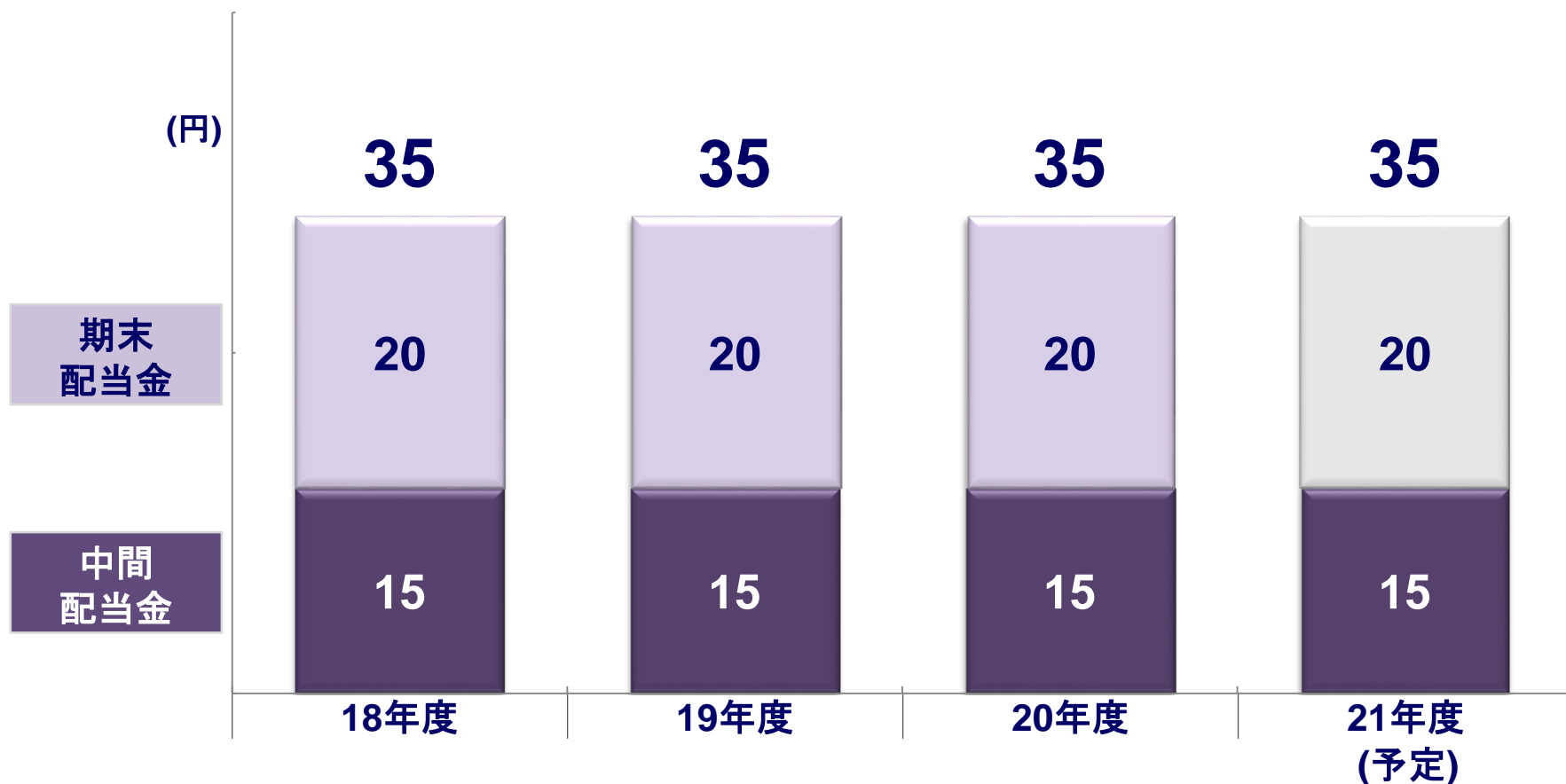
営業利益率



株主還元

□ 資本配分の考え方として、引き続きICパッケージ基板向け大型投資を優先する

一株当たり配当金



ESG経営と DX/GXの推進

ESG外部認証(評価) / DXの推進

外部認証(評価)

MSCI社

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

本指数の提供開始から
4年連続で採用

ESG格付(7段階)で
最上位“AAA”を取得

FTSE Russell社



FTSE4Good

5年連続で選定



FTSE Blossom
Japan

4年連続で選定

DXの推進



ペーパーレス・RPAによる
意思決定の迅速化

グループシステム統合による
生産性向上・適材配置

DX

生産情報のデジタル化
による品質改善

AI活用による
最適生産・組み合わせ

(免責事項)

MSCI : イビデン株式会社のMSCIインデックスへの組入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるイビデン株式会社の後援、宣伝、販売促進ではありません。

MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

FTSE : FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標) はここにイビデン株式会社が第三者調査の結果、FTSE4Good Index Series と FTSE Blossom Japan Index 組み入れの要件を満たし、両インデックスの構成銘柄となったことを証します。

これらのインデックスは、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG) について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計され、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

気候変動問題への姿勢

TCFD

TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES

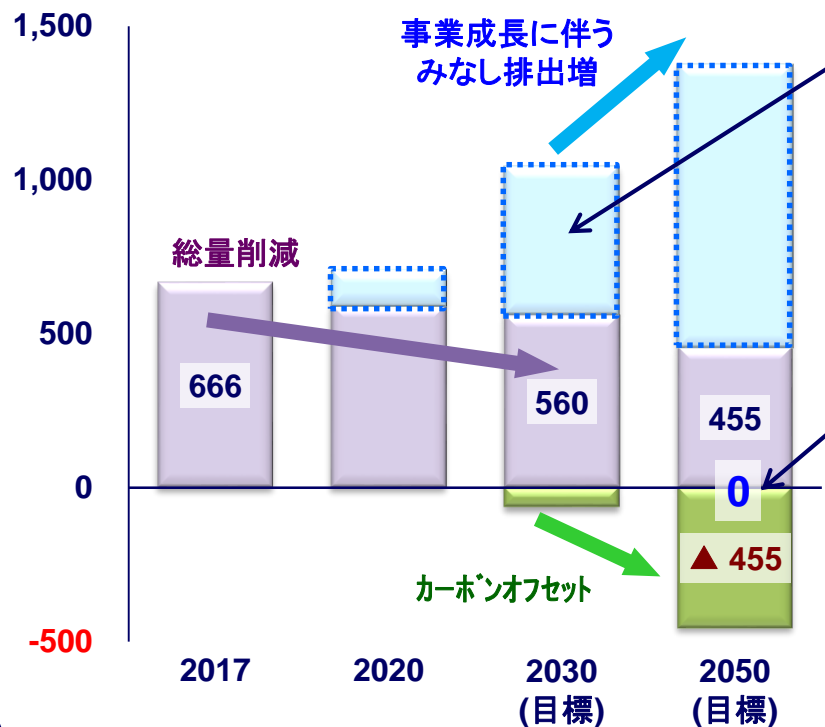
*TCFD: 気候関連財務情報開示タスクフォース

20年8月 TCFD*提言への賛同を表明

21年3月 排出実質ゼロに向けた削減目標開示

排出実質ゼロに挑戦

(千t-CO₂)



2030年度 排出量原単位半減、
排出総量16%削減(17年度比)

□ 事業成長と排出削減の両立

- ・ 生産技術の革新(省エネ・効率化)
- ・ 社内カーボンプライシング

2050年度 可能な限り早い段階で
『排出実質ゼロ』をめざす

□ 事業・技術開発によるオフセット

- ・ 緑化事業、回収・固定化技術
- ・ 再生可能エネルギー新技術／調達

